

---

# 小さな欠片

来栖

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小さな欠片

### 【Nコード】

N1243U

### 【作者名】

来栖

### 【あらすじ】

目を開けたらそこは……木の上！？

ゲーマーだけど仕事人間なアサミがまさかの異世界トリップ。存在意義を見つげるために（強制的に）出た旅で彼女が出逢ったのは、

ポケモン？普通にノリツツコミしますよ。

擬人化？こんな美味しい要素盛り込まないでどうするの！！

笑いとアホな子と恋愛ちみっとシリアスあります。あ、バトルもあるよ!!

初の掲載作品なので、お手柔らかにお願いします(´・`・´) 更  
新目安は一日一ページ!!  
頑張れ自分!!

はじめましては木の上でした。

『ん？』

身体を捻った時、嫌にゴツゴツしたものが背中に当たった。

また小型ゲーム機でも潜ったかな？確か、寝る前にポケモンしてたからなあ……

背中に手を回してゴツゴツの正体であろうゲーム機を探したのだけ  
ど、

ぬりぬり

『んっ？』

ぬりぬりぬりぬり

手のひらの感触は間違いなくゲーム機のそれとは違いすぎる。  
いやいや、私のゲーム機は木製じゃないからね？何だかよくわからない材料だけど、きちんと機械だから例えるならつるつるでしょ？

『てか、今何時……』

とりあえず、背中のざりざりは無視して時間時間。

今日も掛け持ちバイトがあるんだから遅刻は出来ないわけで。

『携帯、けいた、い……』

薄く開いた目が映したのは緑。

探してる白い携帯なんかじゃなくて緑の葉だった。背中のざりざり  
といい、まるで木みたいな……

『マジで木!!?!?』

嘘!?!なんで私木の上で寝てるの!?!普通は落ちるのによくこの体  
制で居られたな!!!

『何々!!?へ?夢?幻?』

顔をつねっても痛いだけでいつもの見慣れた部屋には戻らない。視界は青々としげる木の葉だけだ。

『ちよ、今日も仕事あるのに!!』

こんな非常事態にも仕事の心配をしちゃう私はだから仕事人間って言われるんだろうなあ……

おい、そのせいで彼氏が出来ないって言った奴顔貸せや。シバくぞ。

5

「…おい」

『って何この装備!?!リュックはまだしもスカートとか動きづらいわ!!』

「おい」

『あ、お金と薬みたいのが入ってる。なんかきすぐすりみたい……99個入るかな』

「てめエ……無視するナ!!」

あれ？どちら様？

(ず、ずずず……)

(やっと気づいたカキユツ！！？)

(ズバツトだー！！！！え、何々？夢？現実？生ポケとかテンションヤバい！！！)

(……！！……！！) 首鷺掴みにされてる

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1243u/>

---

小さな欠片

2011年10月9日08時10分発行